

2022 年度第 2 回関西学連総会

日時：9 月 26 日 21 時～

場所：zoom

出席者（順不同）：徳力・吉岡・岩堀・林・丸田・永田・張・近藤

文責：近藤

議題 1：インカレエリートへの補助金

徳力：毎年行っている送金である。会計の林さんに補助金の送金をお願いする。

林：振込先の口座はどうすればいい？

徳力：各大学の渉外に任せる。

議題 2：関西学連の各セレ実施基準の第 6 条について

徳力：セレクション免除者について、以前、世界大会代表者の補欠選手は免除するのか議論があり、補欠選手も対象者にするという結論になった。そのためセレ免除の規約に補欠選手も含むという文言を追加したい。

徳力：文言追加に反対意見がないので追加する方向で動く。

徳力：これに加えて、セレ免除の規約自体の存続について話し合いたい。私個人として扱いづらい規約だと考えている。例えば、スプリントのみ得意な選手がフォレストやロングでセレ免除されることは理にかなっていない。また、推薦枠で「世界大会に出場した」と書くとほとんどの場合通過できるだろう。この規約は世界大会の影響でセレに出られない場合の救済処置のために存在しているが、その意義を十分に果たしていないだろう。事実、他の学連にはこの規約は存在しない。そのため規約を存続させるかどうかの意見を聞きたい。

林：消すまではしなくてもいいのでは？

吉岡：推薦者と免除者でセレ通過者の枠が圧迫されることがあるのだろうか？

徳力：実際、女子の方で 4 枠の内 1 枠を使ったことがある。これを圧迫というのならば圧迫することもあるだろう。

吉岡：免除される方は推薦枠でほぼ確実に通過できるのでこれを使う意味も少ないのでは？

徳力：それはそうだが、世界大会に出ていない方が推薦枠で通ることが難しくなるだろう。

徳力：残すにも残さないにも利点欠点がある。学連外からも意見を集めるのが良さそうだ。

結論：補欠選手についての文言はこれから総会で投票を行う。規約自体の存続について、次回結論を出す。

議題 3：UNIVAS について

徳力 ：日本学連から各校渉外当てのものが届いたら各校で流していただきたい。また、エリート選手が変更されたなどの大事な連絡はリマインドなしで流して欲しい。

その他

徳力 ：関西学連主体で合宿や練習会の企画をしたいと考えている。また、次回の総会は対面で行いたいと考えている。